



扶歌蘭氏原撰
 長生真訣
 桂氏月池書屋梓



長生真訣

凡例

此編を普魯社國の大醫官扶歌蘭氏原撰よりて
荷蘭の醫士某氏翻譯増補せる民間須知乃至秘
録と名くす書乃開卷第一篇あるを譯出は夫は
人の天地間を生を稟りて上王公縉紳より下皂
隸樵漁に至るまで各志願無き事なくを以て其願
を遂げんと欲せざる誰か長生を希まざるは是故
に古來不老の藥方を説き不死の仙丹を街ふ者

少くも之と雖も固に妄誕ありて論するに足ら
ず只攝養の術のみを謹む之は後事を以て健康
を保ち天壽を全くするを得べきの西醫
著書攝生の方法を載はる者少くも之も皆
卷帙浩大なりて未だ此編の如く簡短なりて何處
に中ぬる者を見れば吾薄弱蕭柳の質唯志願を遂
げ國家の化育を報するの年を保ち難く人事
を恐る今之を讀み願ふ自ら省る所あり故に敢
て淺陋を揣らば俚辭を以て譯し之を公にし
以て同志を領しんとし看官譯文の拙を咎むる



洋学文庫

文庫8

J285

(2/3)/4

事なく意を以て迎へ解し此方法を遵從せざる豈
 唯譯者の榮のみならずや實に生民の幸福あり
 此原本録刻西曆一千八百五十五年一月一日
 距る事八年前に在り本編の如きも他日暇を得
 る世に問ふんとす
 文久二年壬戌之秋
 譯者 謹識

長生真訣

西醫 扶歌蘭氏 著
 月池 桂川國典 閱
 秋水 宇都宮義綱 譯

○ 摠論

人身の生活と云ふ。即ち身體中の各器官
 と運動とを掌する固有の力なり。此力は胚
 生の間、天よと授けらる。官能なり。て理科
 医学の間に、之を名づけし生活力とす。此生活力、時